



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

T251-0026 藤沢市鵠沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

サッカー 野球 バレー 今夏中学生が大躍進

強い強いと言われながら結果が出なかつた。選手たちも周りから期待され、強い強いと言われながら結果が出なかつた。

選手たちも周りから期待され、強い強いと言われながら結果が出なかつた。

本校サッカー部はこの夏、県大会優勝、関東大会初優勝、3年ぶり4回目の全国大会出場、そして29年ぶり2回目の全国大会準優勝という成績を収めることができました。

今年度の3年生は、2年次からレギュラーとして出場していた選手3名を含む9名が前年度の夏の総体登録メンバーだったので、新チーム発足時から実力的にかなり高いレベルにありました。実際、新チーム最初の大会である8月の市民総体では、予選リーグ6試合で、32得点1失点という成績で決勝リーグに進出し、結果優勝することができました。

しかし、10月の市の新人戦では新型インフルエンザの影響でやむなく棄権、優勝を目標に臨んだ湘南地区新人戦ではベスト8敗退、3年生になつての春県大会湘南ブロック予選ではベスト16敗退で県大会に出場できずと、結果がなかなか出ませんでした。

選手たちも周りから期待され、強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。

強い強いと言われながら結果が出なかつた。



喜びにわく選手達

村岡中学校 サッカー部

全国大会準優勝

藤沢市立村岡中学校 サッカー部顧問 森 学

藤沢市立村岡中学校 サッカー部顧問 森 学

は一步も引くことなく勇敢に戦い、見事2-1で勝利することができました。試合終了後には泣いている選手もいました。ピッチの選手だけでなく、ベンチを含めベンチ外の選手も一体になれた瞬間でした。

その後、厳しい試合も数多くありましたが、一試合ごとに粘り強く競り負けないチームに成長していくことができ、全国大会の決勝まで登りつめることができました。

このような結果を残すことができたのも、学校をあげての応援や協力、保護者や地域の方々の支援、サッカー部顧問の方々の熱いサポート、ジュニア世代の指導者の熱心な指導、本校サッカー部卒業生の残してきた足跡、そして藤沢市のサッカーに関わるすべての方々のおかげだと思えます。

この場を借りて厚く御礼申し上げます。まだまだ未熟な指導者ですが、今後も微力ながら部活動を通して成長する子どもたちの姿を見ていきたいと思います。

全日本中学野球選手権大会 準優勝

湘南ボーイズクラブ

平成2年に野球と勉強の両立をめぐり、藤沢市石川に立ち上げたクラブチームで、勉強ができるだけでは一流とはいえません。社会において次世代のリーダーとなる人材を育成している中学生の硬式野球と学習塾です。

これまで輝かしい戦歴を重ねており、平成16年には、日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)の春季全国大会で、準優勝。19年夏季選手権大会では、全国制覇を果たしました。県大会・関東地区大会でも数々の頂点に立っています。

今夏開かれた全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ・読売新聞など主催)で見事準優勝の好成績をあげました。

これからは希望する高校から甲子園をめざしてほしいです。(武井)

平成2年に野球と勉強の両立をめぐり、藤沢市石川に立ち上げたクラブチームで、勉強ができるだけでは一流とはいえません。社会において次世代のリーダーとなる人材を育成している中学生の硬式野球と学習塾です。

これからは希望する高校から甲子園をめざしてほしいです。(武井)



■ 巨人原 監督を囲んで、喜びの選手達

第1回湘南カップ 全国中学生ビーチバレー大会

藤沢市バレーボール協会

一昨年、昨年と2度の関東中学生ビーチバレー大会の開催を経まして、藤沢市制施行70周年を迎える今年には、全国で初めてとなるビーチバレーの全国中学生大会を地元湘南の藤沢市鶴沼海岸で開催されました。

試合は、初日に3チームによる予選リーグ戦を行い、上位2チームが2日目の決勝トーナメントに、3位チームは交流戦に進みました。

大会は、大阪府や兵庫県の中学校をはじめ、関東地区の東京都・埼玉県・茨城県からの参加及び県内中学校の参加を得まして、男子18チーム、女子18チームで行われました。

男子の部は、チームひたむき(善行中学校)と藤沢クラブAの藤沢市内のチームによる決勝戦となり、25-21でチームひたむきが優勝しました。

勿論、市内からは、男子の部では、優勝した善行中学校をはじめ、羽鳥中学校、御所見中学校、明治中学校、藤嶺学園中学校、藤沢クラブが、女子の部では、3位になった湘洋中学校と明治中学校、

第3位は、準決勝で優勝したチームひたむきに敗れた羽鳥中学校と埼玉県春日部中央Bが入賞しました。女子の部は、葉山町の南郷中学校が茅ヶ崎市の中島中学校に27-25で決勝戦を競り勝ち優勝し、第3位には、湘洋中学校と兵庫県姫路市の飾磨西中学校が入賞しました。

村岡中学校の各チームが出場しました。

最後に、大会の開催にあたりましては、藤沢市の関係機関の方々やバレーボール協会関係者の多くのおみな様方のご協力とご支援を賜りましたことを感謝申し上げます。(山口)

開会式の後、アトラクタ五輪・シドニー五輪にビーチバレーの日本代表



■ 男子の部 優勝 チームひたむき

第65回 藤沢市総合体育大会 - 地区対抗競技 -

■総合成績

順位	地区名	得点目
優勝	長後地区	190.0
準優勝	藤沢地区	180.5
第3位	遠藤地区	179.0
第4位	駒寄地区	172.5
第5位	湘南台地区	171.0
第6位	滝の沢地区	168.0

■種目別優勝

種目	地区名
軟式野球	長後・湘南台・ 俣野・大清水
ソフトテニス	高谷
バレーボール(男子)	御所見
バレーボール(女子)	羽鳥
卓球	藤沢
バドミントン	遠藤
ソフトボール	石川
硬式テニス	鶴洋

※軟式野球は準々決勝終了時点で大会日程終了になりました。

市総体オープン競技

種目	実施日	参加人数・他
陸上	7/31~8/1	1,408名・56チーム
バスケットボール	6/20~8/11	850名・57チーム
水泳	7/11	163名
剣道	8/22	643名
射撃	8/1	40名
サッカー	8/19~10/3	209チーム
山岳	7/10~7/11	25名・丹沢鍋割山
柔道	11/14	180名
スキー	1/29~1/30	
空手道	10/17	340名
弓道	7/4	84名
ラグビー	7/18~9/12	1,300名・30チーム

種目	実施日	参加人数・他
ハンドボール	12/4~12/19	
体操	8/8	238名・23チーム
ゲートボール	10/31	148名・29チーム
ヨット	8/1	70名・37チーム
ゴルフ	8/23	129名
ボウリング	6/6	39名
太極拳	11/14	132名
グラウンドゴルフ	12/1	239名
アーチェリー	10/11	9名
バウンドテニス	11/21	24地区
ダンススポーツ	11/27	500組・1,000人
カヌー	11/7	21名

第1回 藤沢市
市民総体
カヌー・スプリント大会
カヌー・スプリント競技

藤沢市カヌー協会

藤沢市カヌー協会は、藤沢市体育協会加盟2年目となる本年度、藤沢市民総体のオープン競技種目として、第一回藤沢市カヌー・スプリント大会を開催しました。

11月7日の日曜日、会場の引地川下流域はまずまずの天候。気温も程よく上昇し、絶好のカヌー日和となりました。藤沢市カヌー協会加盟の湘南スポーツクラブを中心として、小学3年生から60歳代のシニア選手まで21名が参加。長久保公園近くの長久保緑橋付近から鶴南小学校横の竜宮橋手前までの1500メートルを一気に漕ぎ抜きました。本来、カヌー・スプリント競技はレーンを仕切ったセパレートコースでの勝ち抜き形式で行うものですが、川幅の狭い引地川のため、オープンコースでのタイムトライアル一本勝負で競いました。引地川兩岸の緑道を行き交う方や、釣り客の方からも声援を頂き、気持ちよく競技会を進めることができました。近隣の皆様のご理解とご協力に本誌をお借りして御礼申し上げます。



■当日参加された選手・役員の方皆さん

(理事長 有村)

藤沢市制施行70周年記念

湘南藤沢市民マラソン

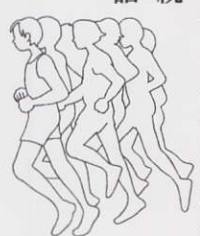
平成23年2月27日(日)
8時30分スタート

タレントの谷川真理さんをゲストランナーに迎えて、江の島神奈川女性センター前をスタート・ゴール地点として、湘南海岸沿いの国道134号線を走り、浜見山交番前の交差点を折り返しスタート地点に戻る、日本陸上競技連盟公認10マイル(16.0943Km)コースに5.64マイル(9.077Km)のコースを加えた2コースで湘南の風を感じながら、初心者でも楽しんで走れるコースに設定されています。

この市民マラソン大会を成功させる為に、多勢の藤沢市体育協会の役員も大会サポートスタッフとして派遣される予定です。

応募された市民の方々の期待は大きくホノルルマラソンにも今年参加される市内川名在住の主婦澤本さん72才はテレビで目にする笑顔で両手を上げてゴールする姿をイメージし期待に胸を膨らませ、ウキウキしながら、毎日練習を続けています。と話して居られます。

(常田)



一貫指導の究極の目標は偉大なアスリートの育成ですが、第一歩として誰もが参加出来るジュニアからシニアまで幅広く生涯スポーツとして、地に足の付いた地域の一貫指導体制を取り上げ、その中で可能な範囲で少しづつ大きな目標を実現していくのが効果的と考えています。

藤沢市体育協会の指導者資格保有者の状況については昨年来、各種目協会の協力を得て実施してきました。幸い各種目協会には多くの優秀な指導者がいますので、その方々の協力を得て指導者派遣事業を実施して行く予定です。

その為には、先ず地域に於ける指導者派遣事業の枠組み決め事を設定しなければなりません。

指導者派遣事業規約検討委員会では派遣事業要項案を立案し、体育協会理事会の承認を得て近々に指導者派遣を必要としている団体に説明を開始します。

対象は藤沢市に在籍する、広い意

一貫指導体制確立への第一歩

指導者派遣事業について 指導者派遣事業規約検討委員会

味での公共団体、地区社会体育協議会、公民館活動団体、及び地域のクラブなどです。

派遣に関わる費用は受益者負担にならざるを得ませんので、両者で納得のいく協議をしていきます。

ジュニアからシニアまで幅広く、公民館の初心者講習会にも対応していきたいと考えています。

体育協会として初めての指導者派遣事業であり、運営が円滑に進行するように指導者派遣事業運営委員会を設立してバックアップをして行きます。尚、スタートとして指導者を派遣出来る種目協会を以下に示します。

- ①柔道、②アーチェリー、③ボウリング、④バウンドテニス、⑤太極拳、⑥空手道、⑦ハンドボール、⑧ダンススポーツ、⑨卓球、⑩ソフトボール、⑪ヨット

多くの団体にご利用いただける幸いです、皆様の御支援をお願い致します。

〈問い合わせ先〉

藤沢市体育協会事務局

0466-50-8243

一貫指導体制に関するアンケート調査速報

スポーツの競技力強化のためには、ジュニア期のタレント発掘から選手養成まで、一貫指導(体制)が重要な役割を果たすことは周知のとおりです。そこで、藤沢市体育協会では改めて32加盟団体に對して、その一貫指導(体制)の現状をアンケート調査しました。

〈結果の主なもの〉

一貫指導を行っている割合は、一部実施を含めると(86%)。実践面では、小学生から中学生までが最も充実しています。(63%)実施していない団体の実情は、計画・スタッフ不足、活動場所確保困難などがあげられます。

編集後記

例年12月に発行される本紙は、県総体で活躍された市民の方々に對する記事で賑わっていたが、今年はその県総体が中止された。寂しい限りである。市総体に關して、今年からカヌー協会とグラウンドゴルフ協会がオープン競技に変わりオープン競技は24種目となった。地区對抗競技では、長後チーム軟式野球、硬式テニスの活躍と幅広く各種目に得点を重ねて13年ぶりに優勝の栄冠を得た。おめでとうございます。



(武井・常田記)

第26回 スポーツ人の集い

日時 平成23年1月22日(土) 午後6時10分~

会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 式典
藤沢スポーツ賞表彰式
この1年間に活躍した選手・団体を表彰

第2部 講演会
(ドイツ)サッカー人生から学んだこと
— 何故ドイツで長くプレーができたのか? —



奥寺康彦氏

◆プロフィール◆
相模工科大学附属高校卒業
(現：湘南工科大学附属高校)
日本人サッカープロ第一号
1970年代
世界最高峰リーグ
ドイツブンデスリーガで9年間
レギュラー
現在
横浜FC代表取締役会長 兼
ゼネラルマネージャー